たかひこ通信

【今月の短歌】

新緑の河原の風を吸い込みて 高瀬の空に鯉幟泳ぐ

部内資料 たかひこ通信 133号 2022年5月

池田町大字池田3089-4

薄井孝彦 Tel·Fax 0261-62-5093 mail: peace-ikeda@peach.plala.or.jp http://web-ariakesan.com/

しゃくじはら

甕町長 株式会社 ゼンリゾーツの社口原開発計画を説明

4月28日、議会全員協議会が開かれ、甕町長から株式会社ゼンリゾーツの社口原(滝沢地区南)開発計画の説明がありました。その概要は下記の通りです。計画についての町長の考えは6月議会で聞く予定です。

≪ゼンリゾーツの開発計画のポイント≫

- ① 社口原上段(東側)にホテル・農産物加工施設・スパ(療養温泉施設)を建設する。ホテルはゼンリゾーツで建設するが、農産物加工施設・スパは町で建設して欲しい。
- ② 農産物加工施設は町内外から農産物を集め加工し、都会のレストランに販売する。同施設の建設費は長野県の補助事業(産地パワーアップ事業、1/2補助)の活用も考えられる。
- ③ 現在、社口原の農業生産を継続していく農業 法人化の計画がある。ゼンリゾーツは法人に参 加しても良いが、その中心的な役割を担う考え はない。農業労働力には顧客を当てたい。

【計画の問題点】

- (1)農産物加工施設・スパの建設予定地は「急傾斜地特別警戒区域・同警戒区域(がけ崩れなどにより被害の恐れがある区域)」の直下にある(図1)。また、社口原の下段(西側)には活断層がある(図2)。このような危険が予想される区域に建物を作って良いのか。
- (2)農産物加工施設・スパを町で建設するには多額 な費用がかかる。施設の稼働には上下水道が必 要であり、更に多額の費用がかかる。

大型事業(会染小学校大規模改修、会染西部ほ場非農地整備事業、会染保育園整備事業)が予定されているなか、新たな財政負担は町財政をいっそう厳しくするのではないか。



図 1 社口原のハザードマップ (町ハザードマップより)

社口原の東山塊(図右)のA・Bの区域が急傾 斜地特別警戒区域を示す。



図2 社口原の活断層図(町の活断層図より)

※ 図1・図2の黒太線で囲まれた区域が 社口原を示す。

≪お知らせ≫

4月28日の議会全員協議会で、共産党議員が求めていた農業者などへの支援策が町から示されました。 後日、町から申請方法などが広報されます。 事業費:6千万円 財源:国コロナ交付金5,080万円

- 〇水稲事業者への支援:令和3年度の主たる収入が農業収入で水稲を30a以上作付けした方に対し、
 - 公付金額=交付対象面積×4,000円(10a当たり4,000円)、上限30万円まで
- 〇事業者への支援:「令和3年10月~令和4年3月」と「令和元年10月~令和2年3月」または「令和2年10月~令和3年3月」の売上総額が20%以上減少した方に、その差額分を支給する。上限30万円まで